



新毎日

夕刊

女子医大2医師逮捕

心臓手術ミス

業過致死など容疑

警視庁「カルテ改ざん、証拠隠滅」

東京女子医科大学病院(東京都新宿区)で昨年3月、心臓手術のミスで群馬県高崎市の小学6年生、平柳明香さん(当時12歳)が死亡した事故で、警視庁捜査1課と牛込署は28日、手術を担当した同病院の医師2人を業務上過失致死や証拠隠滅容疑で逮捕した。医療過誤で医師が逮捕されるのは極めて異例。警視庁は、任意の聴取で2人が容疑を否認したため、強制捜査に踏み切った。

(社会面に関連記事)

逮捕されたのは、人工心肺装置の操作を担った佐藤一樹容疑者(38)と千葉市緑区辺田町、業務上過失致死容疑で、執刀した瀬尾和宏容疑者(46)と西栗京市南町6、証拠隠滅容疑。誘へては、佐藤容疑者は昨年3月2日、心臓中隔欠損症と肺動脈弁狭窄症で昨年2月に入院していた明香さんの手術で人工心肺装置の血液を吸引するポンプの回転数を通常1分間約40回のごとく、約100回以上に上げたため、血液の体外循環が正常にできなくなり、脳に血液が回らず重大な

針。病院上層部の立件は、事情聴取で、佐藤容疑者(者①)手術の担当者にあしない方針。これまでの一は、責任は、(瀬尾容疑者(者②)、瀬尾容疑者は「改

さんばあちゃんといふ」と話していたが、逮捕時には、佐藤容疑者は「今は話せません」、瀬尾容疑者は「自分は否認していません」と話したという。明香さんの両親は今年1月、両容疑者を含む同医大の医師6人を業務上過失致死容疑などで警視庁に告訴していた。

女子医大小児心臓手術事故

2 医師逮捕

2002年 6月 28日 毎日新聞夕刊 1面